

「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の実施結果

特殊災害室

1 趣旨及び目的

近年、石油コンビナート等特別防災区域に所在する特定事業所における事故の発生件数は、年間200件を超える高い水準で推移しています。

また、今後、発生が危惧される南海トラフ地震や首都直下地震等の自然災害により特防区域で大規模な災害が発生することも懸念されているところです。

消防庁では、石油コンビナート等における特定事業所の防災を担う自衛防災組織や共同防災組織（以下、「自衛防災組織等」という。）の防災要員の技能及び士気の向上を図り、防災体制を充実強化することを目的とした「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」を平成26年度から実施しています。

2 概要

特定事業所内の石油タンクで火災が発生したことを想定し、自衛防災組織等の保有する消防車両を活用した消火活動競技を行うものです。

3 参加組織

全国の事業所に設置されている760の自衛防災組織等のうち、「大型化学高所放水車及び泡原液搬送車」又は「高所放水車（大型化学高所放水車、大型高所放水車又は普通高所放水車をいう。）及び化学消防車（大型化学消防車又は甲種普通化学消防車をいう。）」を保有する自衛防

災組織等を対象にしており、管轄する消防本部からの推薦が参加条件となります。

今年度は、管轄する消防本部から推薦された43の自衛防災組織等が参加しました。

4 現地審査（本選）及び表彰組織の決定

参加した43の自衛防災組織等のうち、ビデオ審査による予選を通過した25の自衛防災組織等を対象に、11月5日の「津波防災の日」を中心とした約1か月間程度の時期に、消防庁の職員が当該事業所に出向き、隊員等の安全管理、消防車両等の確実な操作や取扱いについて審査しました。

全25組織の審査終了後、11月17日に消防庁長官を委員長とする審査・表彰委員会を開催し、最優秀賞1組織（総務大臣賞）、優秀賞4組織（総務大臣賞）、特別賞1組織（消防庁長官賞）、奨励賞20組織（消防庁長官賞）を決定しました。

なお、今年度、新たに設けた特別賞については、本選において安全管理に関して「模範となる活動」を行った、大阪市消防局推薦「大阪北港地区共同防災組合」が受賞いたしました。

5 総務大臣賞表彰式及び意見交換会

（1）総務大臣賞表彰式

総務大臣賞受賞組織の代表者と中隊長に表彰状と記念品が青木消防庁長官から授与されました。

ア 日時

平成28年12月5日（月）14時00分から14時30分まで

イ 場所

法曹会館3階 富士の間（東京都千代田区霞が関1-1-1）

ウ 総務大臣賞受賞組織

<最優秀賞>

東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織
（東ソー株式会社南陽事業所）

<優秀賞>

出光共同防災組織（出光興産株式会社 徳山事業所）

関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織
（新関西国際空港株式会社）

三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織
（三井化学株式会社岩国大竹工場）

常磐共同火力発電所勿来発電所自衛防災組織
（常磐共同火力発電所勿来発電所）

(2) 意見交換会

表彰式終了後、総務大臣賞を受賞した5組織の代表者、中隊長が、「苦勞したこと」、「消防本部からの指導」、「訓練を通じて得たもの」等、それぞれの技能コンテストを振り返りました。

6 おわりに

石油コンビナートにおいては、一度災害が発生すれば拡大する危険性が大きいことから、災害の発生又は拡大の防止のために自衛防災組織等が果たす役割は非常に大きいものがあります。今後も、各組織におかれては、災害の予防に努めていただくとともに、石油コンビナートにおける防災体制の中核としての役割を担っていただきたいと思ひます。消防庁におきましても、各消防本部と

連携し、様々な取組を通して、全力で石油コンビナート等の防災活動を支援してまいります。

なお、技能コンテストに関する詳細は消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）内のバナーに掲載しておりますので、御覧ください。



最優秀賞を受賞した東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織（山口県周南市）の競技の風景



総務大臣賞表彰式（青木消防庁長官（前列左から3番目））

問合わせ先

消防庁特殊災害室 大川
TEL: 03-5253-7528